

正誤表	2026 年版 司法試験・予備試験 体系別短答式過去問集 3－1 刑法 I 〈総論〉
-----	---

本書において下記の通り誤りがございました。
内容を訂正すると共に、読者の皆様にご迷惑をおかけしたことを、深くお詫び申し上げます。
恐れ入りますが、本正誤表をご確認の上、ご利用いただきますようお願い申し上げます。

早稲田経営出版

ページ	誤	正	更新日
520	平 23－12 改 (No.207) 選択肢 3 問題文 4 行目 宣告することが <u>できる</u> 。	宣告することが <u>できない</u> 。	26/02/10
521	<u>解説本文を以下に差替え</u> 甲は、判決により拘禁刑 2 年、3 年間執行猶予（保護観察なし）に処せられているから、執行猶予の要件のうち 25 条 1 項各号には該当しないが、甲には執行猶予が付されているから、同条 2 項の再度の執行猶予が問題となる。その要件は、「前に拘禁刑に処せられたことがあってもその執行を猶予された者が」今回「2 年以下の拘禁刑の言渡しを受け、情状に特に酌量すべきものがあるとき」である（同項本文）。ただし、前に拘禁刑に処せられて執行猶予が付されたときに、「保護観察に付せられ、その期間内に更に罪を犯した者については、この限りでない」（同項ただし書）。令和 7 年に 25 条 2 項本文が改正され、今回の宣告刑が 2 年以下の拘禁刑であれば、再度の執行猶予が認められるに至った。		

以上